

2020年3月卒者(大学・大学院卒) 「新卒者採用に関する進捗調査」 集計結果報告

公益財団法人就職支援財団が、県内企業の2020年3月卒業予定の新卒者(大学・大学院卒)採用活動の8月時点での状況について調査しました。

調査の趣旨

この調査は、静岡県内企業における新卒採用活動の現時点での進捗状況を収集し、企業・学校・学生へタイムリーに情報を展開することで、今年度の企業の採用活動、学生の就職活動への対応策提言の資料としていくものです。

調査要領

■調査対象

静岡県内企業の経営者もしくは人事担当者

従業員数: 49名以下27.8%、50～99名25.9%、100～299名26.4%、300名以上19.9%

業種: 製造業29.2%、建設業11.6%、卸売・小売業17.2%、サービス業35.1%、その他6.9%

■調査期間

2019年8月8日～2019年9月1日

■調査方法

2019年5月実施「新卒者採用に関する実態調査」(しずおか産学就職連絡会)の調査票送付先及び、新卒媒体やイベント等で新卒者を募集している企業から2,500社を抽出。調査依頼文を郵送し、WEBサイトにてアンケート回答

■有効回答数

518 サンプル (有効回答率 20.7%)

※集計は、調査対象のプロフィール以外、非該当・不明を除いて実施。また、小数点以下第2位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合がある。

<調査に関する問い合わせ先>

公益財団法人 就職支援財団

担当: 鈴木

TEL 054-271-3111

【総括】	3P
【調査結果】	
Ⅰ. 2020年3月卒者(大学・大学院卒)の採用活動実施状況	4P
Ⅱ. 選考プロセスにおける状況の前年度比較	5P
Ⅲ. 採用活動終了企業の活動実績	6P
Ⅳ. 今年度の採用活動全体の状況	7P
Ⅴ. インターンシップの実施状況	8P

＜今年度採用活動の概況＞

採用活動継続企業の割合が68%、採用計画人数の充足見込割合が3割と厳しい状況にあるが、底打ち感が見られる。～底打ちの要因は、採用環境の改善ではなく、企業の採用人数に対するこだわりが弱まっていることようだ。

- ①採用活動を継続している企業の割合は5割超であるが、前年を下回った。採用意向のある企業のうち、68%の企業が現在も採用活動を継続しているが、前年を5ポイント下回っている(図表1、2)。採用活動の継続率を業種別、地域別に見ると、「建設業」、「県東部地区」が8割超と、他よりも高い数値となっている(図表3、4)。
- ②採用計画人数の充足を見込んでいる企業は30%と厳しい状況だが、前年よりも上回っている(図表5)。「県東部地区」の充足見込の割合は18%と、他地域よりも厳しい様子が見える(図表6)。
- ③選考プロセスには底打ち傾向が見られる。応募者数の減少傾向、内定辞退率の増加傾向がいずれも弱まる傾向にある(図表7、12)。
- ④内定者数は全体的に減少傾向にあり(図表10)、特に従業員50人以上の企業ではその傾向が顕著である(図表11)。
- ⑤選考開始時期(図表18)、内々定出しの時期(図表9)、採用活動終了時期(図表13)の早期化が見られるが、採用活動を終了した企業のうち、採用予定人数に達した企業の割合は、前年を下回る48%となっている。今回終了要因で目立った項目は「終了時期を決めていたから」というもの。その割合は前年を上回る17%で、終了理由の中で2位となっている(図表14)。計画人数の充足に対するこだわりが弱まる傾向にあるようだ。
- ⑥前年よりも採用活動状況が厳しくなっているとした企業は6割弱となっているが、前年数値を9ポイント下回っている(図表16)。「卸売・小売業」の企業では、その割合が7割を超えている(図表17)。

＜インターンシップの概況＞

インターンシップの実施率が6割弱と上昇。実施期間1日、職場見学、説明会形式の割合がさらに高まっている。

- ①インターンシップ実施率は、前年を7ポイント上回る59%となっている(図表20)。実施率は、全ての従業員規模において前年を上回っている(図表21)。インターンシップの実施時期は「8月～9月」が最も多いが、「1月～2月」「10月～12月」への分散傾向が見られる(図表22)。実施回数は、「2～4回」が最も多いが、従業員300人以上の企業では、5割弱の企業が「5回以上」と回答しており、企業がインターンシップに力を入れている様子が見える。
- ②インターンシップの実施日数は「1日」が6割超(図表21)、実施内容は「見学」「説明会」型の割合がおおよそ7割となっており(図表24)、いずれも増加傾向にある。年々採用活動に準じた内容が増えているようだ。

＜今後の採用活動について＞

インターンシップの普及が、単なる就職活動・採用活動の早期化ではなく、学生の進路選択と企業の求める成果に奏功するよう、インターンシップの内容の作りこみは今後さらに重要になりそうだ。

インターンシップの実施率は年々高まっており、とくに採用活動に準じた「短期」「見学・説明型」のものが増加していることから、企業にとっては採用活動の重要なツールになっているといえるだろう。ただ、企業が本来の成果として考えている「学生の知ること」や「学生に対して会社の理解度を深めること」(図表29)はどれだけ叶っているのだろうか。このままのながれでは、単に採用活動・就職活動を早期化しているに過ぎず、学生・企業双方の目的にどれだけ寄与しているのかは疑問が残る。今後は、学生がしっかり進路選択できるような状態に導いていくことも含め、インターンシップの受入対象学年、時期、日数、内容について、内容を検討していくことが重要になりそうだ。

※総括及び調査結果のTOPICSのコメントにある“前年”とは、“前年同時期”の調査となります。

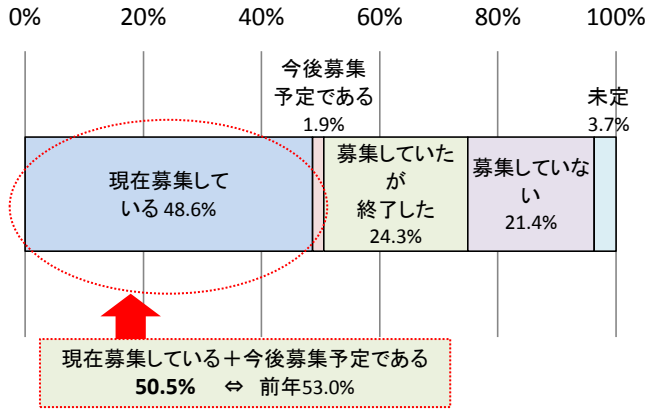
【調査結果】

I. 2020年3月卒者(大学・大学院卒)の採用活動実施状況

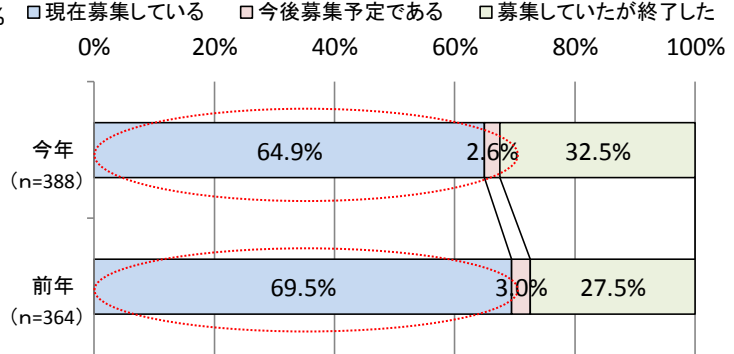
<TOPICS>

- 採用活動を継続している、あるいは募集予定のある企業は全体の51%と前年を3ポイント上回った(図表1)。採用意向のある企業に絞ると、前年を5ポイント下回る68%の企業が採用活動を継続している(図表2)。業種別に見ると、建設業、地域別では県東部地区の活動継続率が最も高くなっている(図表3、4)。
- 今年度の採用計画を充足できそうな企業は全体の30%で前年を4ポイント上回った(図表5)。従業員規模別に見ると、全ての従業員規模に比例して充足見込が高まっている。地域別では、県東部地区が他地域に比べて充足見込が低くなっている(図表6)。

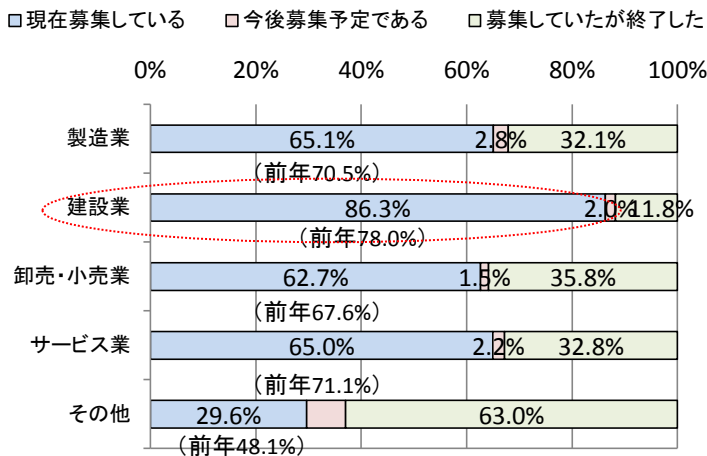
(図表1) 2020年3月卒者の採用募集状況(n=518)



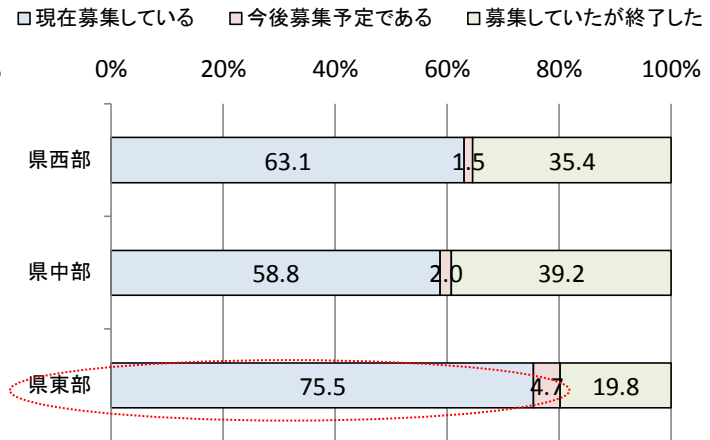
(図表2) 採用意向のある企業の活動継続率



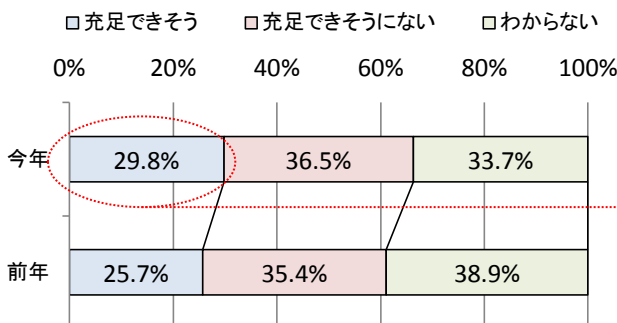
(図表3) 業種別:採用意向のある企業の活動継続率



(図表4) 地域別:採用意向のある企業の活動継続率



(図表5) 採用計画充足見込(n=386)



(図表6) 従業員規模別、地域別:
今年度の採用計画充足見込

従業員規模	充足できそう
49人以下	16.5
50~99人	23.8
100~299人	35.5
300人以上	44.6

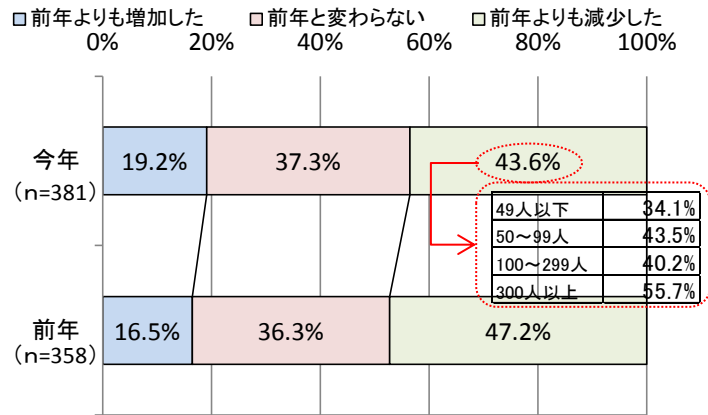
地域	充足できそう
県東部	17.5
県中部	33.8
県西部	35.5

Ⅱ. 選考プロセスにおける状況の前年度比較

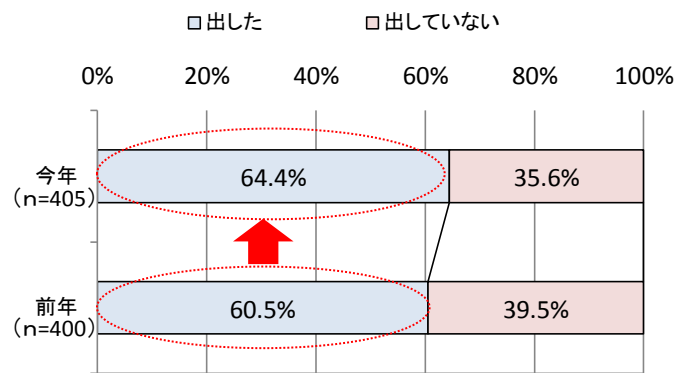
<TOPICS>

- ・応募者数は「前年よりも減少した」企業の割合が44%と最も高いが、前年よりも4ポイント減少している。従業員規模別で見ると、「300人以上」の企業は「前年よりも減少した」割合が5割を超えている(図表7)。
- ・内々定を出した企業の割合は64%で、前年を4ポイント上回っている(図表8)。
- ・最初に内々定を出した時期は、6月が最も多くなっている。6月よりも前に内々定を出した企業の割合は61%で、前年を6ポイント上回っている(図表9)。
- ・内定者数を前年度と比較すると、前年と変わらない企業の割合が最も多い(図表10)。従業員規模別に見ると、「50人以上」の企業では、「前年よりも減少した」企業の割合が最も多くなっている(図表11)。
- ・内定辞退者数を前年の比較すると、「前年と変わらない」割合が5割超と最も高くなっている。次に「前年よりも増加した」企業の割合が多いが、前年よりも9ポイント下回っている(図表12)。

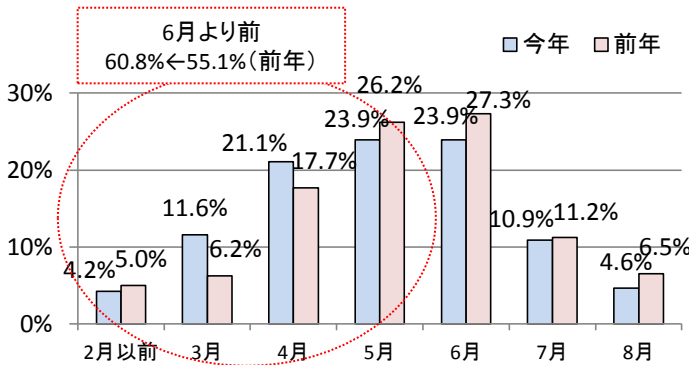
(図表7) 応募者数の前年度との比較



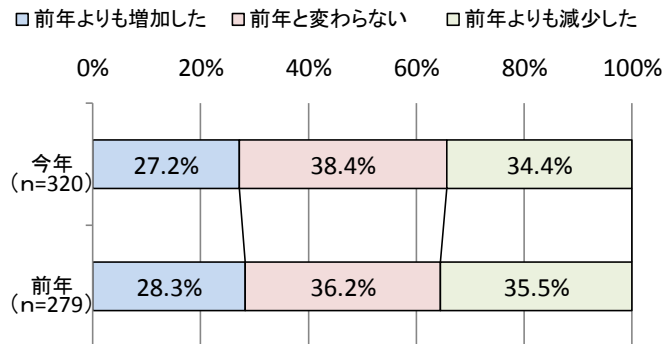
(図表8) 内々定出し状況の前年度との比較



(図表9) 最初に内々定を出した時期(今年n=285)



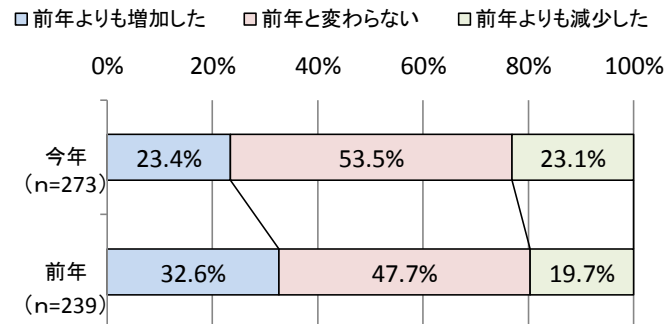
(図表10) 内定者数の前年度との比較



(図表11) 従業員規模別: 内定者数の前年度との比較

	前年よりも増加した	前年と変わらない	前年よりも減少した
49人以下	23.2	53.6	23.2
50~99人	23.4	37.5	39.1
100~299人	32.4	33.3	34.3
300人以上	26.3	35.8	37.9

(図表12) 内定辞退者数の前年度との比較

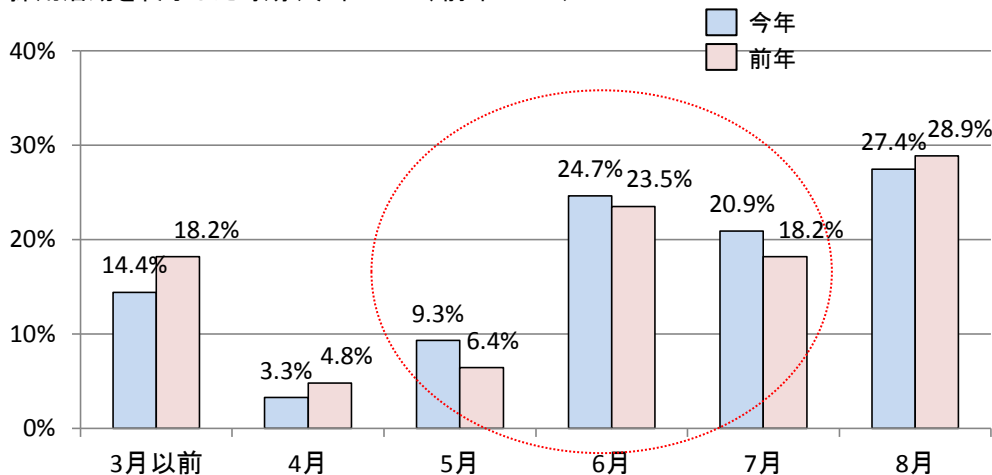


Ⅲ. 採用活動終了企業の活動実績

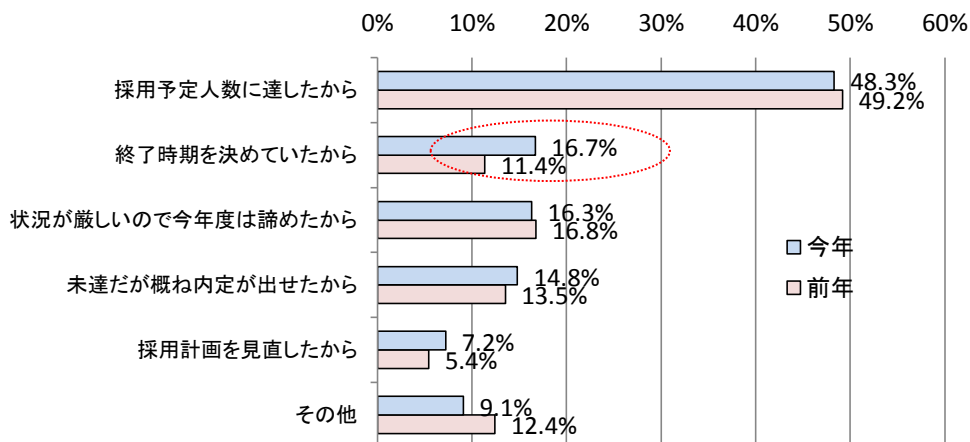
<TOPICS>

- 採用活動の終了時期は「8月」の割合が高くなっているが、前年調査を2ポイント下回っている。「5月～7月」に終了した企業の割合は、前年よりも7ポイント増加している(図表13)。
- 採用活動を終了した理由は、「採用予定人数に達したから」が48%と最も多いが、前年を1ポイント下回っている。「終了時期を決めていたから」という企業の割合は17%と2番目に高い数値となっている(図表14)。業種別に見ると、「建設業」と「卸売・小売業」は他業種と比較して、「採用予定人数に達した」企業の割合が低く、「状況が厳しいので今年は諦めた」企業の割合が高くなっている(図表15)。

(図表13) 採用活動を終了した時期(今年n=215、前年n=201)



(図表14) 採用活動を終了した理由(n=209、複数回答)



(図表15) 業種別: 採用活動を終了した理由

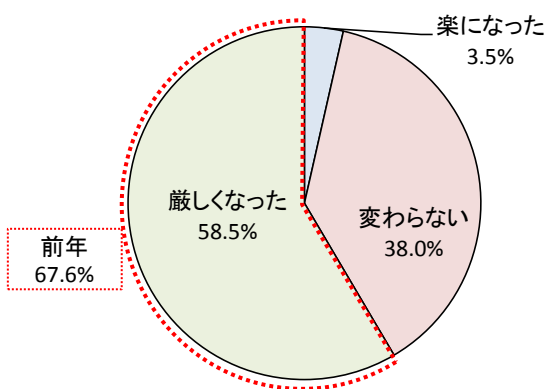
	採用予定人数に達したから	終了時期を決めていたから	状況が厳しいので今年度は諦めたから	未達だが概ね内定が出せたから	採用計画を見直したから	その他	%
全体	48.3	16.7	16.3	14.8	7.2	9.1	
製造業	52.5	8.5	15.3	15.3	8.5	10.2	
建設業	21.1	15.8	26.3	10.5	21.1	10.5	
卸売業・小売業	38.1	19.0	23.8	19.0	7.1	4.8	
サービス業	58.2	22.4	10.4	11.9	3.0	9.0	
その他	50.0	18.2	13.6	18.2	4.5	13.6	

IV. 今年度の採用活動全体の状況

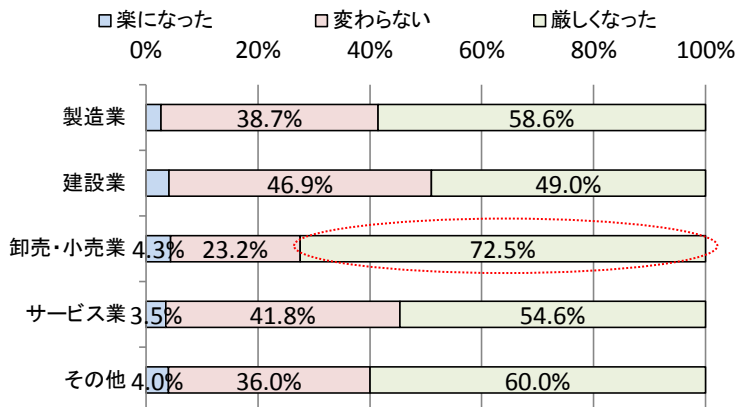
<TOPICS>

- ・前年と比較した今年の採用活動の印象は59%の企業が「厳しくなった」と回答したが、前年を9ポイント下回っている(図表16)。業種別に見ると、「卸売・小売業」が他業種と比較して「厳しくなった」と回答した企業の割合が高くなっている(図表17)。
- ・6月より前の選考を実施した企業の割合は62%で、前年を7ポイント上回っている(図表18)。選考を実施した企業の割合は、全ての従業員規模で前年よりも上回っている(図表19)。

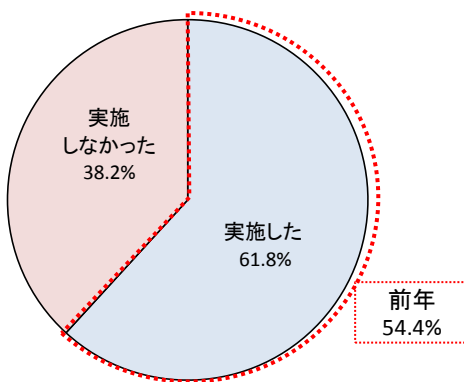
(図表16) 前年と比較した採用活動の印象 (n=395)



(図表17) 業種別：前年と比較した採用活動の印象



(図表18) 6月より前の選考実施状況 (n=403)



(図表19) 従業員別：6月より前の選考実施状況

	実施した	実施しなかった	%
49人以下	41.1	58.9	
50~99人	54.6	45.4	
100~299人	69.7	30.3	
300人以上	78.4	21.6	

(前年調査)

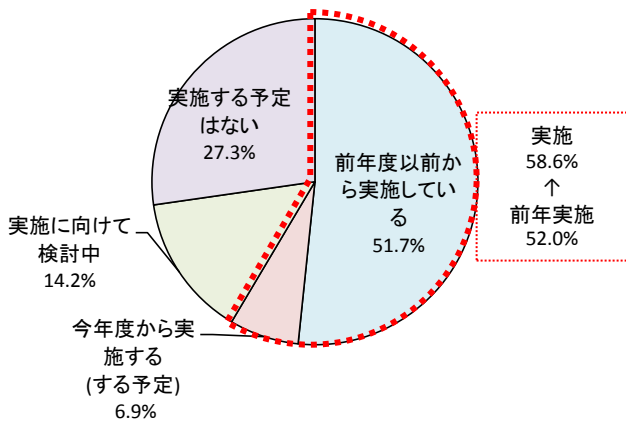
	実施した	実施しなかった	%
49人以下	31.3	68.7	
50~99人	48.4	51.6	
100~299人	63.0	37.0	
300人以上	76.1	23.9	

V. インターンシップの実施状況

<TOPICS>

- ・インターンシップを実施している企業の割合は59%で、前年を7ポイント上回っている(図表20)。従業員規模別に見ると、規模の大きさに比例して実施率が高くなっている。また、全ての従業員規模で、前年の実施率よりも高い数値となっている(図表21)。
- ・実施時期は「8月～9月」が73%と最も多いが、前年を4ポイント下回っている。「1月～2月」と「10月～12月」は、前年を上回る実施率となっている(図表22)。
- ・実施期間は「1日」が61%と最も多く、前年よりも5ポイント増加している(図表23)。
- ・実施回数は「2回～4回」が56%と最も多い(図表24)。「従業員300人以上」の企業では、「5回以上」の企業が45%となっている(図表25)。実施回数は「増やしている」企業の割合が4割となっており(図表26)、従業員規模に比例してその割合は高くなっている。「300人以上」の企業では、「増やしている」企業の割合が6割超となっている(図表27)。
- ・インターンシップの実施内容は、「職場、工場の見学」が最も多く、次いで「業界や会社、仕事等の説明」が高い数値となっており、それぞれ前年数値を上回っている。前年と比較して最も変化があったのは、「経営者や社員との交流(座談会等)」で、前年を13ポイント上回っている(図表28)。
- ・インターンシップの成果は、「学生のことを知ることができる」ことが7割超と最も割合が高く、「学生に対して会社の理解が深まる」が続いている(図表29)。

(図表20) インターンシップの実施状況 (n=480)



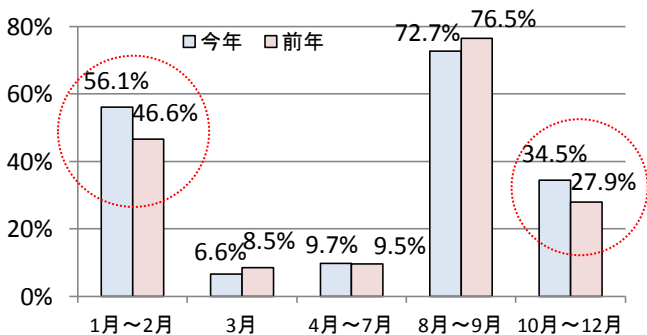
(図表21) 従業員規模別：インターンシップの実施状況

	実施している (予定含む)	実施に向けて 検討中	実施する予 定もない
49人以下	40.8%	16.8%	42.4%
50～99人	52.0%	13.0%	35.0%
100～299人	65.4%	13.8%	20.8%
300人以上	79.4%	12.7%	7.8%

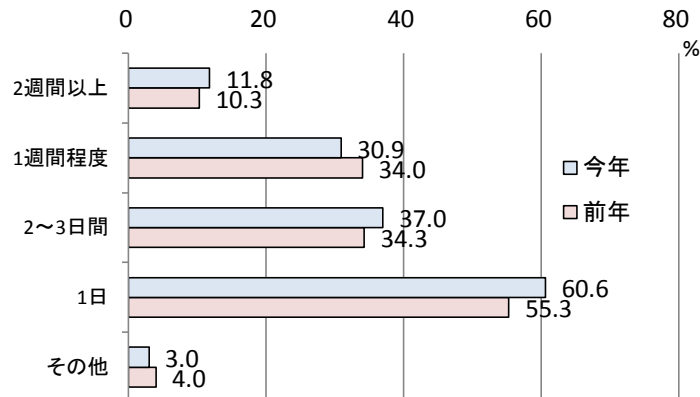
前年度調査

	実施している (予定含む)	実施に向けて 検討中	実施する予 定もない
49人以下	36.0%	19.4%	44.6%
50～99人	50.8%	16.1%	33.1%
100～299人	53.6%	24.1%	22.3%
300人以上	74.2%	14.4%	11.3%

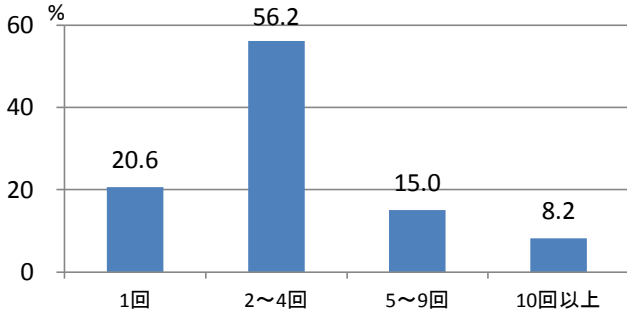
(図表22) インターンシップの実施時期 (n=319、複数回答)



(図表23) インターンシップの実施期間 (n=330、複数回答)



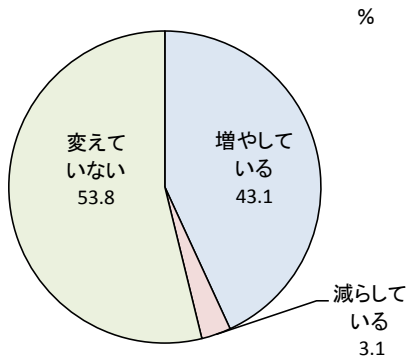
(図表24) インターンシップの実施予定回数(n=306)



(図表25) 従業員規模別：インターンシップの実施予定回数

	1回	2~4回	5~9回	10回以上
49人以下	39.6	56.6	1.9	1.9
50~99人	23.5	70.6	5.9	0.0
100~299人	24.0	50.0	16.7	9.4
300人以上	3.4	51.7	28.1	16.9

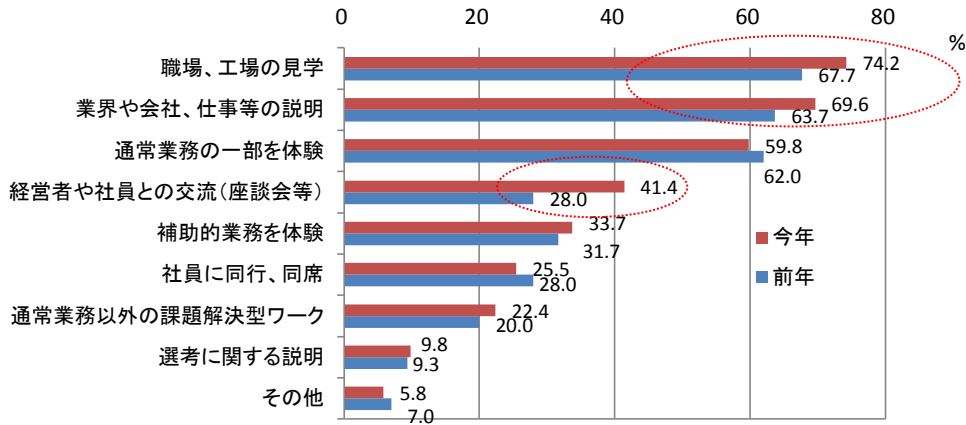
(図表26) インターンシップの実施回数の変化(n=262)



(図表27) 従業員規模別：インターンシップの実施回数の変化

	増やしている	減らしている	変えていない
49人以下	28.6	2.4	69.0
50~99人	28.8	5.1	66.1
100~299人	44.0	4.8	51.2
300人以上	61.0	0.0	39.0

(図表28) インターンシップの実施内容(n=326、複数回答)



(図表29) インターンシップの成果(n=315、複数回答)

